

山口中学校が環境大臣賞を受賞



40年近くにわたり脈々とモリアオガエルの保護・増殖に取り組んできた山口中学校理科部が、「地域環境保全功労者表彰環境大臣賞」を受賞しました。平成18年6月には東京で授賞式があり、小池環境大臣（当時）から部長の小田切弘樹君（同中3年）に直接表彰状が手渡されました。このことを新聞報道で知った北六甲台の市民から、大きなモリアオガエルが学校に届けられるということもありました。また9月には、多くの人々の模範となる有益な研究であるとして、兵庫県教育委員会より「ゆずりは賞」が贈られました。



モリアオガエルとその卵塊。

西宮独自の環境マネジメントシステムを始めました。



本市は平成18年度から、独自の環境マネジメントシステムの運用を開始しました。「環境マネジメントシステム」とは、事業者自らが環境目標の達成に向けて取り組みを実施し、振り返り、継続的に改善していくための組織体制や手続きの手順を定めたものです。国際規格である「ISO14001」がよく知られており、本市も平成13年3月の認証取得後、市が自主的に定めた方針や目標に沿って省エネなどに取り組んできましたが、市役所の事務事業に適した独自のシステムに移行したため、平成19年3月の有効期限満了をもって、ISO14001の認証を返上することにしています。



内部監査では活発なやりとりが行なわれました。

「循環・共生・参加まちづくり表彰」（環境大臣賞）を受賞



平成18年1月、本市は環境省より「循環・共生・参加まちづくり表彰」（環境大臣賞）を受賞しました。この表彰は、多岐にわたる地域の課題を視野に入れ、地域に根ざした持続可能なまちづくりに取り組み、顕著な実績をあげている市町村などを称えるものです。エコカードを始めとする「気づき」を促す環境学習システム開発のほか、環境学習施設の整備、さらには環境計画推進パートナーシップ会議の設置、エココミュニティ会議設置に向けた取り組みなど、市民、事業者、行政の参画・協働による新環境計画の推進体制が、高く評価されての受賞です。



小池大臣（当時）より表彰状が藤井環境局長に

渡り鳥の中継地を保護地区に指定しました。



甲子園浜の干潟はシギ・チドリ類の渡り鳥たちにとって貴重な飛来地で、国から鳥獣保護区（一部は特別保護地区）に指定されています。同区域に、渡り鳥のえさとなるアサリ・ゴカイが多く生息することから、近年、潮干狩りに訪れる人々が増え、野鳥を餌場から遠ざける原因になっていました。NPO法人海浜の自然環境を守る会などが構成する「甲子園浜環境保全連絡協議会」が立ち入り自粛を呼びかけ、平成17年度には自粛区域をロープなどで示す取り組みを進めてきましたが、より実効性を高めるために、市では平成18年度より、「自然と共生するまちづくりに関する条例」に基づいて、生物保護地区の指定や、時期及び区域を限定した立入制限を行なっています。



立入制限区域を囲むフェンスの設置

「エコツアーガイドブック」

自然環境や歴史文化を学び、地域の保全に気を配る観光旅行“エコツアー”を西宮で楽しむためのガイド本、「にしのみやを歩こう！エコツアーガイドブック」を発行、販売しています。この冊子を片手に西宮を歩いてみると、いつも見慣れていたはずの街並みが、実は新しい発見にあふれた場所だったことに気づかされます。80ものスポットを10の地域に分けて紹介しており、この一冊で何回ものエコツアーが楽しめます。

